

三重の景況

No.86

(令和7年1月～6月期)

三桑	重四	県日	商市	工商	会工	議工	所会	連議	合議	会所
鈴	鹿	山	商	商	工	工	会	議	議	所
亀	津	阪	商	商	工	工	会	議	議	所
松	伊	勢	商	商	工	工	会	議	議	所
鳥	上	野	商	商	工	工	会	議	議	所
名	尾	張	商	商	工	工	会	議	議	所
熊		鷺	商	商	工	工	会	議	議	所
		野								

はじめに（総括）

県内 12 商工会議所では、地区の小規模企業を対象とした景況調査を年 2 回実施しています。このたび令和 7 年上期の調査結果がまとまりましたのでご報告します。

三重県内の景況を示す指標である「現状」の D I 値は、▲27.5 と令和 6 年下期に比べ 4.0 ポイント悪化となりました。

業種別の「現状」D I 値は、製造業▲30.0（前期▲29.0）、建設業▲19.5（前期▲16.6）、卸売業▲31.8（前期▲25.3）、小売業▲46.2（前期▲41.6）、飲食業▲29.7（前期▲20.5）、サービス業▲21.9（前期▲15.5）、交通運輸業▲14.0（前期▲22.5）、その他の業種▲11.0（前期▲14.6）と、交通運輸業・その他の業種で改善し、製造業・建設業・卸売業・小売業・飲食業・サービス業は悪化となりました。

地区別の「現状」D I 値は、北勢地区▲24.1（前期▲20.1）、中勢地区▲29.4（前期▲28.1）、南勢地区▲26.6（前期▲20.4）、伊賀地区▲30.5（前期▲29.7）、東紀州地区▲40.6（前期▲38.7）となり、伊賀地区ではほぼ横ばい、その他の地区で悪化しました。

また、「今後の見通し」の D I 値は▲31.5 となり、現状の D I 値（▲27.5）と比較すると 4.0 ポイントの悪化を見通しています。業種別では、その他の業種では改善、製造業・建設業・卸売業・小売業・飲食業・サービス業・交通運輸業では悪化の見通しとなり、地区別では、全ての地区で悪化の見通しとなりました。

全体 DI 値で、「売上状況」、「利益状況」は悪化、「販売条件」は横ばい、「仕入条件」は改善となりました。

地区別の「売上状況」は、伊賀地区で改善、中勢地区・東紀州地区ではほぼ横ばい、それ以外の地区で悪化、「利益状況」は、中勢地区で改善、伊賀地区・東紀州地区ではほぼ横ばい、それ以外の地区で悪化、「販売条件」は、南勢地区で改善、北勢地区、伊賀地区、東紀州地区ではほぼ横ばい、中勢地区で悪化、「仕入条件」は、北勢地区、南勢地区、伊賀地区、東紀州地区で改善、中勢地区ではほぼ横ばいとなりました。

景気の方角性を示す「設備投資」の項目は、「行った」とした割合が全体で 15.2%（前期 17.9%）と減少、「予定している」とした割合は、全体で 13.9%（前期 13.0%）と前期と比べほぼ横ばいとなりました。

「借入の状況（難易度）」の D I 値は、全体で▲2.2（前期▲2.5）とほぼ横ばい、「借入を予定している」と回答した企業の割合は 10.4%（前期 11.3%）、「使途予定」については『運転資金』の割合は 70.2%（前期 68.3%）、『設備資金』の割合は 26.9%（前期 27.7%）となりました。

以上が本調査結果の概要です。本調査報告書が皆様の今後の企業経営の参考や小規模企業に対する皆様の更なる理解に資することになれば幸いに存じます。

最後に本調査の実施、作成にあたりましては、調査対象企業をはじめ関係各位の皆様にご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

令和 7 年 8 月

三重県商工会議所連合会

も く じ

(調 査 内 容)

・ 調査要領	1
1. 現状と今後の見通し	4
現況D I 値の推移	6
2. 売上状況	8
3. 今後の売上見通し	8
4. 利益状況	9
5. 販売条件	10
6. 仕入条件	10
7. 設備投資	11
8. 資金繰り状況と今後の見通し	12
9. 借入状況	13
借入難易度D I 値の推移	14
10. 借入予定	15
11. 借入希望先	15
12. 借入金の使途予定	16
13. 経営上の問題点	16
・ 県内商工会議所地区の景況	18
・ 景況調査票	

「三重の景況」調査要領

1. 調査目的

当調査は、三重県商工会議所連合会と県内 12 商工会議所〔*1〕が、小規模企業〔*2〕の動向を合同で調査することにより、県内小規模企業の景況把握を、地区別〔*3〕に行い、合わせて各会議所地区の景況を調査することにより、各商工会議所の事業活動の参考とすることを目的とする。

〔* 1〕 県内商工会議所

桑 名商工会議所	中小企業相談所
四日市商工会議所	中小企業相談所
鈴 鹿商工会議所	中小企業相談所
亀 山商工会議所	中小企業相談所
津 商工会議所	中小企業相談所
松 阪商工会議所	中小企業相談所
伊 勢商工会議所	中小企業相談所
鳥 羽商工会議所	中小企業相談所
上 野商工会議所	中小企業相談所
名 張商工会議所	中小企業相談所
尾 鷲商工会議所	中小企業相談所
熊 野商工会議所	中小企業相談所

〔* 2〕 小規模企業（中小企業基本法による）

卸売・小売・サービス業は従業員 5 人以下（宿泊業・娯楽業は 20 人以下）、
製造・建設・その他の業種については 20 人以下。
（会社の役員・家族従業員・パートを除く）

〔* 3〕 県内各地区は下記のとおり

北勢地区……桑名・四日市・鈴鹿・亀山
中勢地区……津・松阪
南勢地区……伊勢・鳥羽
伊賀地区……上野・名張
東紀州地区…尾鷲・熊野

2. 調査対象・回答状況

県内 12 商工会議所の会員企業中、任意抽出した小規模企業 10, 127 事業所を対象とした。回答状況は、回答率 22. 9%、回答企業 2, 316 事業所であった。

3. 調査方法

F A X または郵送方法によるアンケート方式

4. 調査期間

令和 7 年 7 月 1 日～7 月 11 日

※ 当調査は、“1 月～6 月期”と“7 月～12 月期”の年 2 回、前年同期比の D I 値による調査を実施している。

5. 集計方法

外部委託を行い、一括コンピュータ集計を行った。

6. 調査結果の取りまとめ

調査結果の取りまとめについては、伊勢、鳥羽、尾鷲、熊野の 4 商工会議所が担当した。

なお、各商工会議所地区の景況は当該商工会議所が担当した。

D I 値（ディフュージョン・インデックス）の見方について

D I とは景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、特に言及のない限り、「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

（注）図表中の数値表示について

図表中の数値については小数点以下第 2 桁で四捨五入をしているため、合計が 100. 0 にならない場合がある。（マイナスは▲表示）

業種別・地区別回答状況

単位：企業（ ）：％ 上：業種別構成率 下：地区別構成率

地区 業種			北勢					中勢			南勢			伊賀			東紀州			計
			桑名	四日市	鈴鹿	亀山		津	松阪		伊勢	鳥羽		上野	名張		尾鷲	熊野		
製造業	食料		46	14	16	11	5	24	4	20	15	10	5	11	7	4	14	13	1	110
	せんい		7	2	3	2	0	1	0	1	1	1	0	5	4	1	0	0	0	14
	機械		44	28	10	2	4	11	2	9	9	3	6	4	4	0	2	1	1	70
	金属製品		58	33	13	10	2	13	3	10	7	4	3	9	7	2	3	3	0	90
	木材		15	6	6	0	3	13	2	11	7	7	0	4	4	0	13	10	3	52
	化学		5	1	3	0	1	1	0	1	1	1	0	2	1	1	0	0	0	9
	窯業		12	0	11	0	1	1	0	1	1	1	0	1	1	0	3	2	1	18
	印刷出版		12	3	3	5	1	13	8	5	3	3	0	1	0	1	5	4	1	34
	その他		34	11	10	13	0	9	3	6	15	9	6	7	5	2	8	6	2	73
	計		233 (22.5) (59.2)	98	75	43	17	86 (19.4) (14.8)	22	64	59 (15.9) (9.3)	39	20	44 (24.1) (9.0)	33	11	48 (21.3) (7.7)	39	9	470 (21.2) (100.0)
非製造業	建設業	土木工事	77	20	39	14	4	16	7	9	11	5	6	20	11	9	9	7	2	133
		建築工事	147	42	60	37	8	42	17	25	25	19	6	17	12	5	10	7	3	241
		その他	136	33	67	33	3	35	19	16	16	15	1	23	15	8	7	6	1	217
		(小計)	360	95	166	84	15	93	43	50	52	39	13	60	38	22	26	20	6	591
	卸売業	食料	12	5	4	3	0	3	0	3	7	4	3	3	2	1	6	3	3	31
		せんい	1	0	1	0	0	1	0	1	4	2	2	1	0	1	0	0	0	7
		その他	45	14	19	8	4	25	5	20	13	11	2	12	6	6	2	1	1	97
		(小計)	58	19	24	11	4	29	5	24	24	17	7	16	8	8	8	4	4	135
	小売業	せんい	21	7	9	3	2	7	0	7	14	12	2	7	4	3	8	4	4	57
		食料	45	13	14	14	4	14	4	10	14	12	2	10	6	4	15	9	6	98
		日用品	13	7	4	2	0	3	1	2	1	1	0	3	3	0	3	1	2	23
		電気製品	12	5	2	2	3	5	1	4	5	4	1	4	3	1	4	4	0	30
		その他	71	23	17	25	6	35	10	25	34	23	11	19	12	7	23	15	8	182
		(小計)	162	55	46	46	15	64	16	48	68	52	16	43	28	15	53	33	20	390
	サービス業	飲食業	67	18	22	20	7	14	5	9	53	38	15	11	6	5	26	23	3	171
		美容・理容	29	12	10	0	7	6	2	4	6	6	0	4	2	2	9	7	2	54
		ホテル旅館	5	1	1	3	0	5	1	4	15	3	12	3	0	3	7	3	4	35
		自動車整備	24	9	8	3	4	14	3	11	5	4	1	6	3	3	8	6	2	57
		不動産	59	20	34	3	2	13	5	8	2	2	0	10	3	7	3	3	0	87
		その他	73	33	22	10	8	32	12	20	20	15	5	30	18	12	18	10	8	173
		(小計)	190	75	75	19	21	70	23	47	48	30	18	53	26	27	45	29	16	406
	交通運輸業		18	5	5	3	5	21	4	17	4	3	1	0	0	0	7	7	0	50
	計		855 (71.3) (53.6)	267	338	183	67	291 (77.6) (16.9)	96	195	249 (81.1) (13.1)	179	70	183 (75.5) (8.0)	106	77	165 (75.4) (7.8)	###	49	1743 (74.2) (100.0)
その他・不明		67 (6.2) (75.0)	22	29	14	2	16 (3.0) (10.5)	16	0	9 (3.0) (8.1)	7	2	3 (0.5) (0.8)	2	1	8 (3.4) (5.6)	5	3	103 (4.6) (100.0)	
合計		1155 (100.0) (55.8)	387	442	240	86	393 (100.0) (16.2)	134	259	317 (100.0) (12.4)	225	92	230 (100.0) (7.9)	141	89	221 (100.0) (7.7)	160	61	2316 (100.0) (100.0)	

1. 現状と今後の見通し

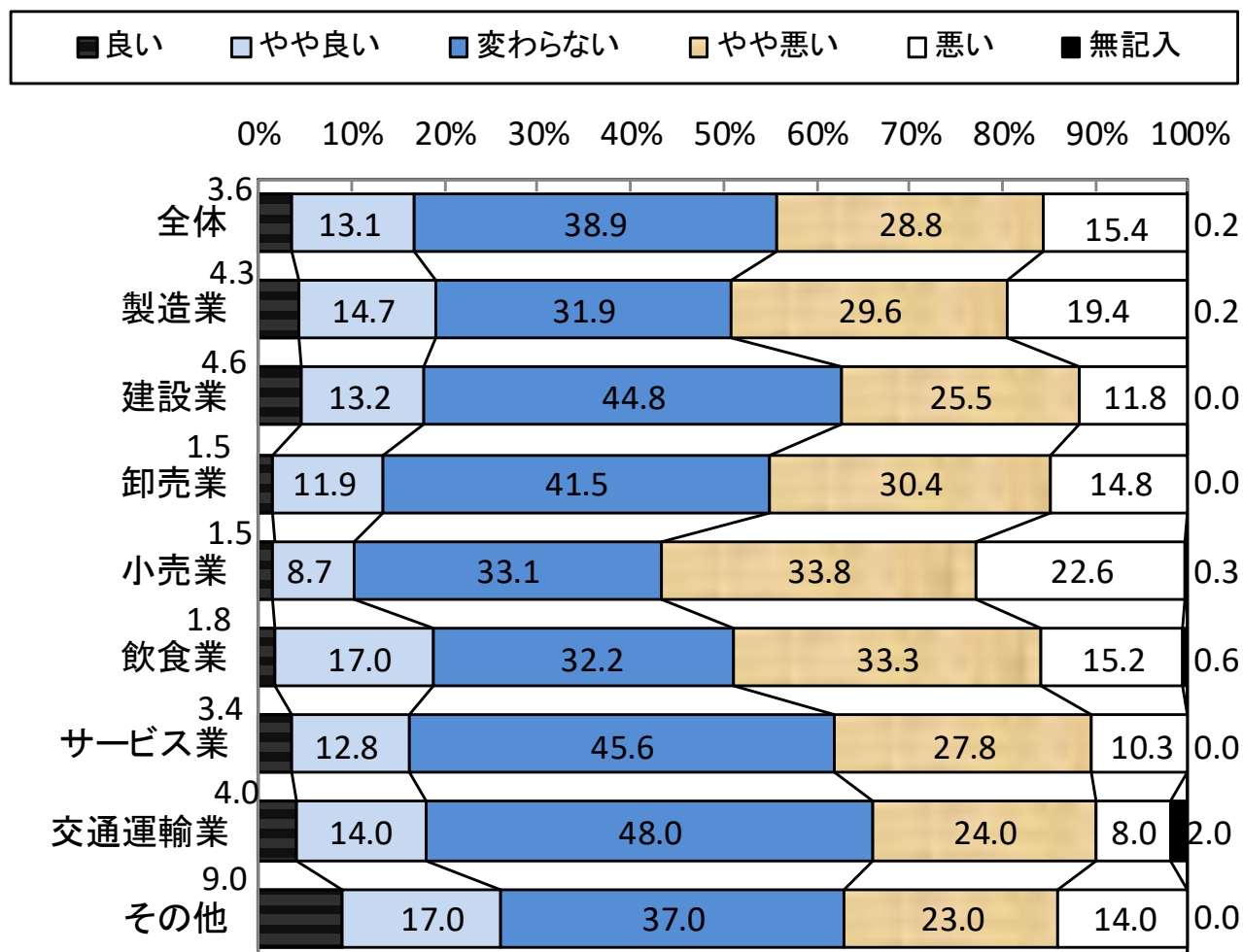
a) 現状

全回答企業 2,316 事業所中、「良い・やや良い」が 16.7%、「悪い・やや悪い」が 44.2%で、D I 値は▲27.5（前期▲23.5）となり、4.0 ポイント悪化した。

業種別の D I 値では、交通運輸業、その他の業種で改善が見られ、製造業、建設業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業で悪化となり、製造業▲30.0、建設業▲19.5、卸売業▲31.8、小売業▲46.2、飲食業▲29.7、サービス業▲21.9、交通運輸業▲14.0、その他の業種▲11.0 となった。

地区別の D I 値では、伊賀地区でほぼ横ばい、北勢地区、中勢地区、南勢地区、東紀州地区で悪化となり、北勢地区▲24.1、中勢地区▲29.4、南勢地区▲26.6、伊賀地区▲30.5、東紀州地区▲40.6 となった。

図－１ 現状について（業種別）



図－2 現状について（全体・地区別）

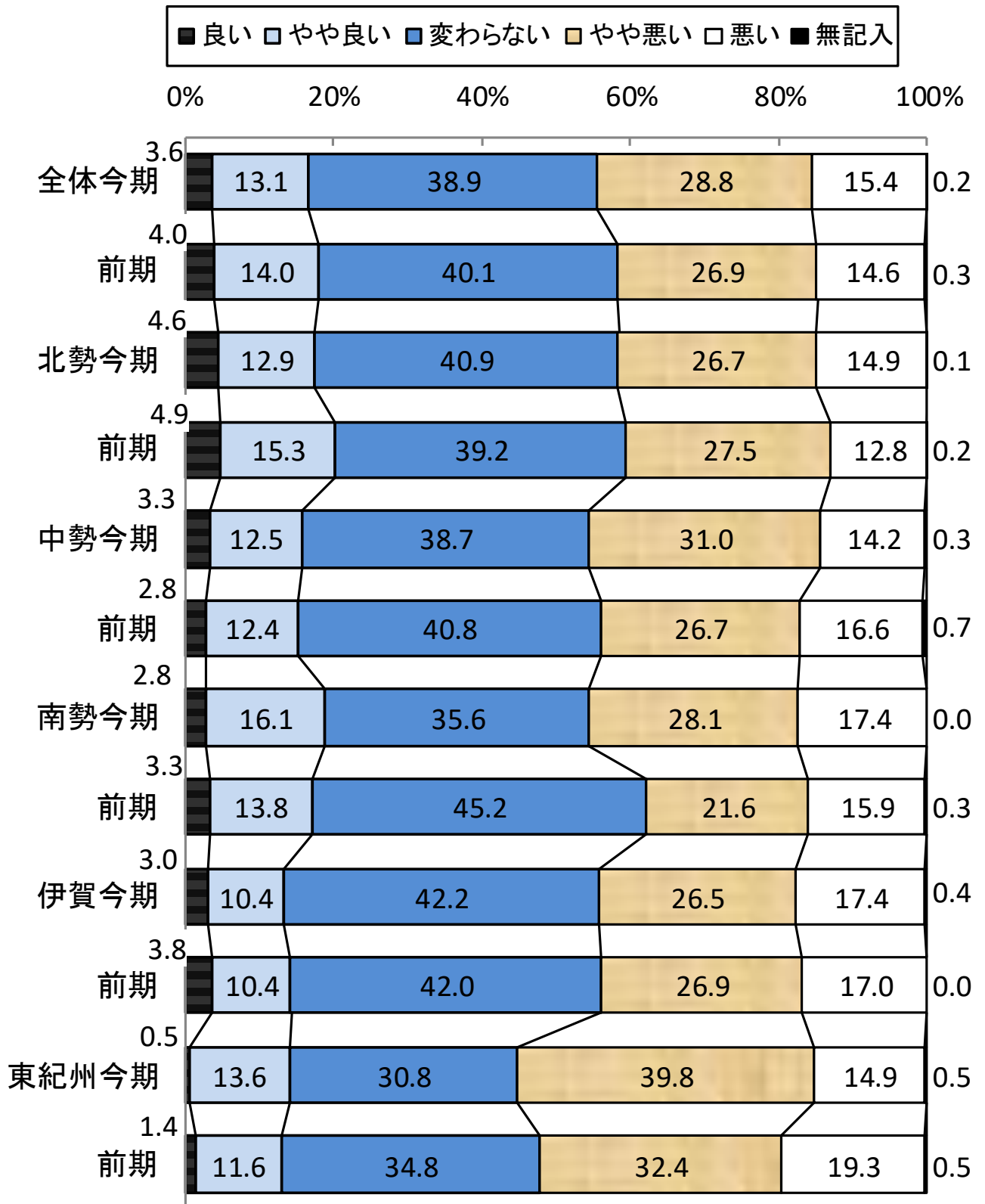
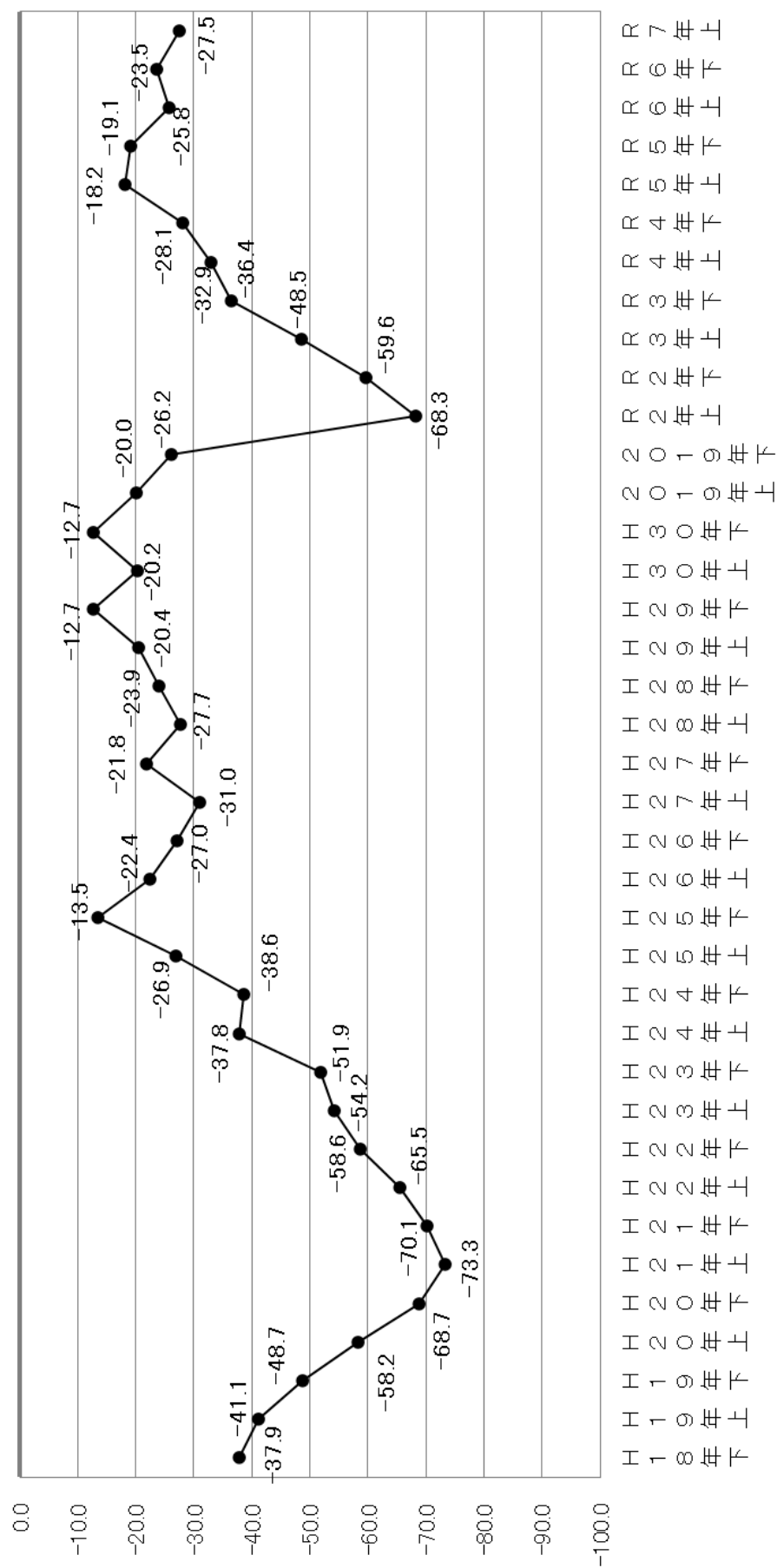


図-3 現況DI値の推移



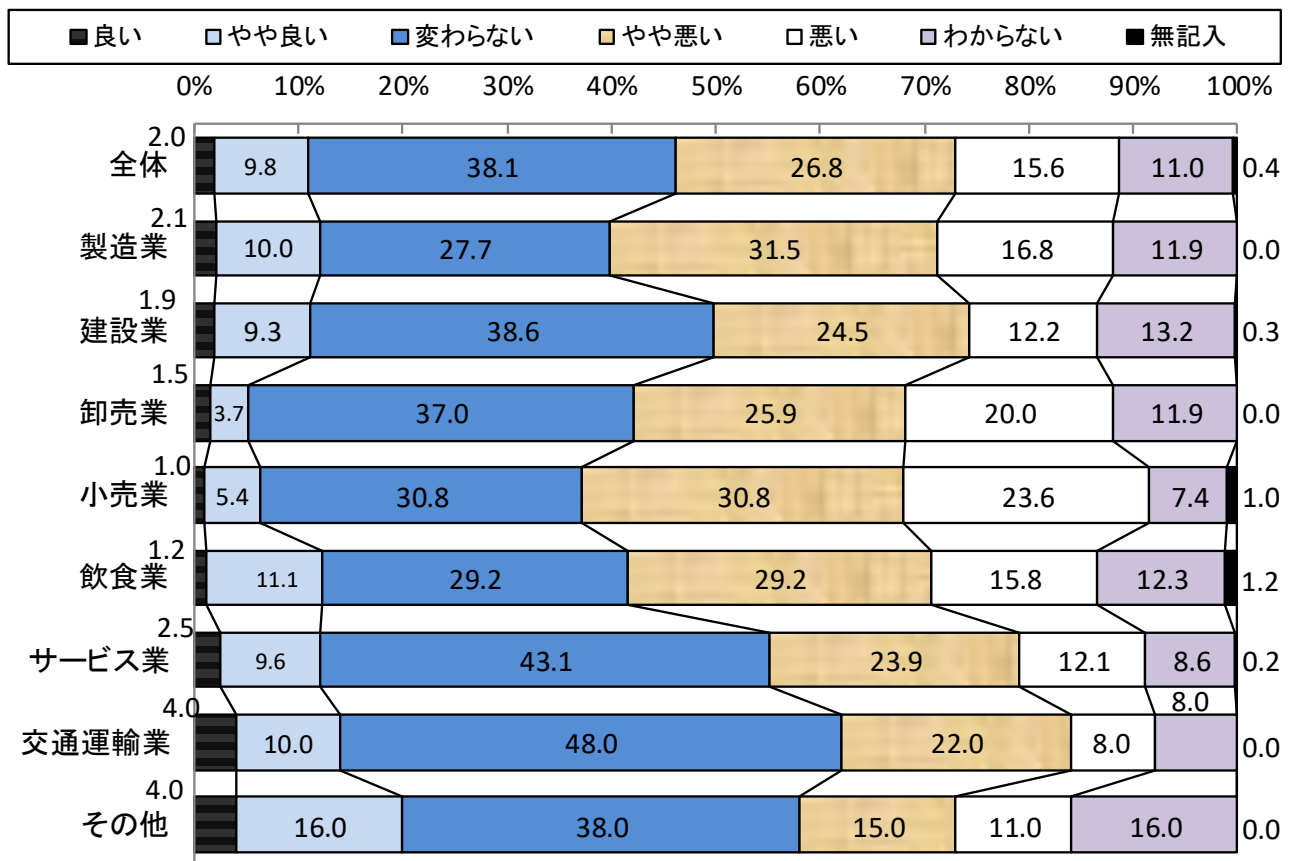
b) 見通し

全体的見通しでは、「良い・やや良い」が10.9%、「悪い・やや悪い」は42.4%で、D I 値は▲31.5（現状D I 値▲27.5）となり、4.0ポイント悪化の見通しとなった。

業種別のD I 値では、現状と比べその他の業種で改善の見通しが見られ、製造業、建設業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業、交通運輸業で悪化の見通しとなり、製造業▲36.2、建設業▲25.5、卸売業▲40.7、小売業▲48.0、飲食業▲32.7、サービス業▲23.9、交通運輸業▲16.0、その他の業種▲6.0となった。

地区別のD I 値では、現状と比べ全ての地区で悪化の見通しとなり、北勢地区▲27.4、中勢地区▲37.5、南勢地区▲28.8、伊賀地区▲32.2、東紀州地区▲45.6となった。

図ー4 今後の見通しについて（業種別）



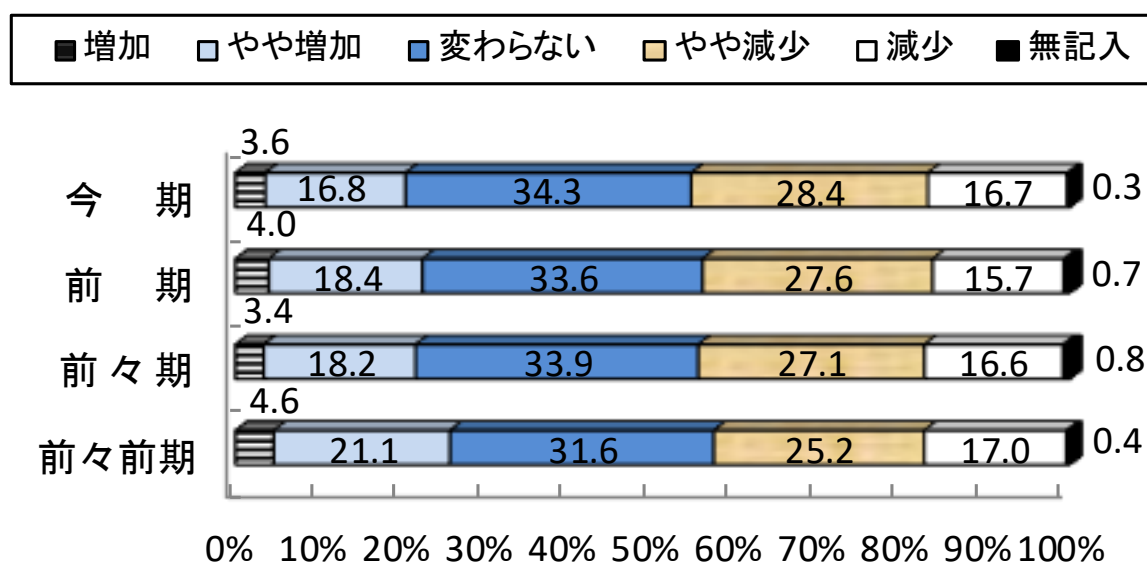
2. 売上状況

全体では、「増加・やや増加」が 20.4%（前期 22.4%）、「やや減少・減少」が 45.1%（前期 43.3%）で、D I 値は▲24.7（前期▲20.9）となり、3.8 ポイント悪化した。

業種別の D I 値では、前期と比べ、卸売業、交通運輸業で改善が見られ、建設業はほぼ横ばい、製造業、小売業、飲食業、サービス業、その他の業種では悪化となり、製造業▲26.8、建設業▲17.7、卸売業▲20.7、小売業▲42.1、飲食業▲26.4、サービス業▲20.8、交通運輸業▲6.0、その他の業種▲15.0 となった。

地区別の D I 値では、前期と比べ伊賀地区で改善が見られ、中勢地区、東紀州地区はほぼ横ばい、北勢地区、南勢地区で悪化となり、北勢地区▲22.2、中勢地区▲23.9、南勢地区▲22.4、伊賀地区▲27.0、東紀州地区▲40.3 となった。

図－5 売上状況



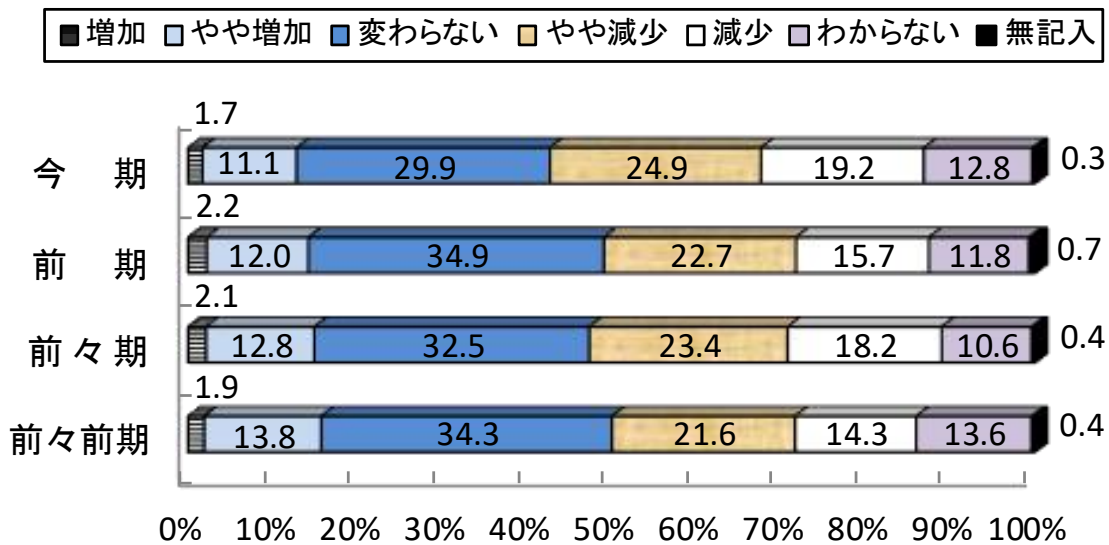
3. 今後の売上見通し

全体では、「増加・やや増加」が 12.8%（前期 14.2%）、「やや減少・減少」が 44.1%（前期 38.4%）で、D I 値は▲31.3（現状 D I 値▲24.7）となり、6.6 ポイント悪化の見通しとなった。

業種別の D I 値では、現状と比べ、その他の業種で改善の見通し、その他の業種以外の全業種で悪化の見通しとなり、製造業▲33.2、建設業▲25.9、卸売業▲42.2、小売業▲47.0、飲食業▲35.1、サービス業▲25.9、交通運輸業▲14.0、その他の業種▲5.0 となった。

地区別の D I 値では、現状と比べ全ての地区で悪化の見通しとなり、北勢地区▲26.5、中勢地区▲37.9、南勢地区▲27.4、伊賀地区▲32.6、東紀州地区▲48.4 となった。

図－6 売上見通し



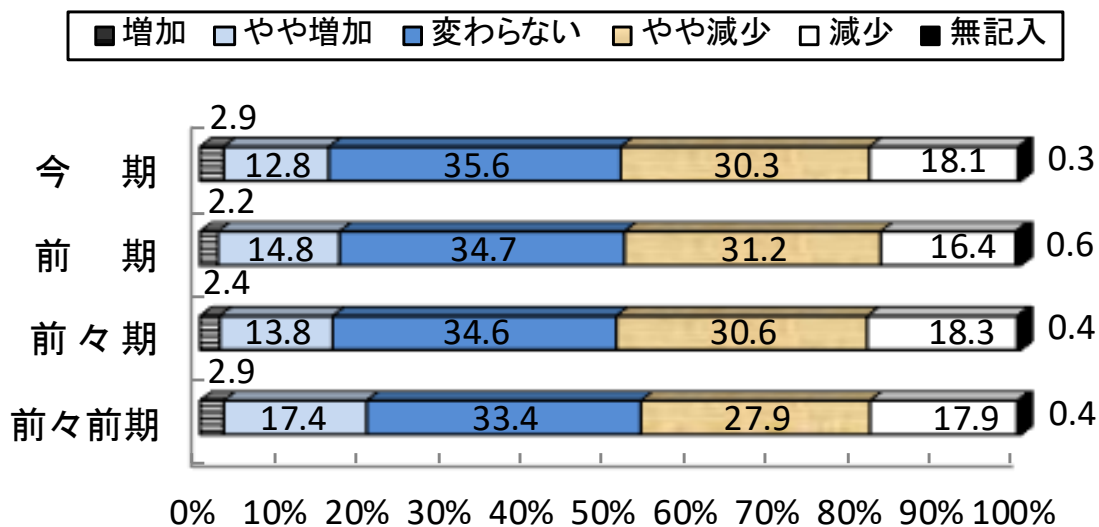
4. 利益状況

全体では、「増加・やや増加」が 15.7%（前期 17.0%）、「やや減少・減少」が 48.4%（前期 47.6%）で、D I 値は▲32.7（前期▲30.6）となり、2.1 ポイント悪化した。

業種別の D I 値では、前期と比べ製造業、小売業、交通運輸業、その他の業種で改善が見られ、建設業、卸売業、飲食業、サービス業は悪化となり、製造業▲30.7、建設業▲26.0、卸売業▲34.8、小売業▲45.7、飲食業▲55.0、サービス業▲26.5、交通運輸業▲30.0、その他の業種▲17.0 となった。

地区別の D I 値では、前期と比べ中勢地区で改善が見られ、伊賀地区、東紀州地区でほぼ横ばい、北勢地区、南勢地区で悪化となり、北勢地区▲28.7、中勢地区▲33.2、南勢地区▲35.0、伊賀地区▲35.7、東紀州地区▲47.0 となった。

図－7 利益状況



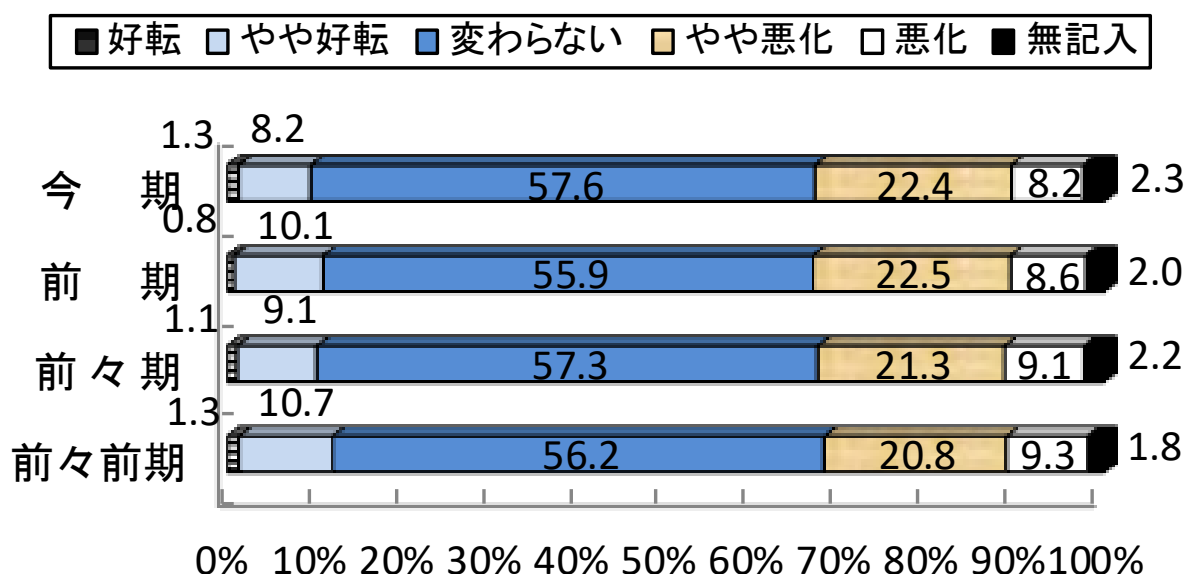
5. 販売条件

全体では、「好転・やや好転」が 9.5%（前期 10.9%）、「やや悪化・悪化」が 30.6%（前期 31.1%）で、D I 値は▲21.1（前期▲20.2）とほぼ横ばいとなった。

業種別の D I 値では、前期と比べ製造業、卸売業、小売業、その他の業種で改善が見られ、建設業、飲食業、サービス業、交通運輸業では悪化となり、製造業▲13.2、建設業▲19.3、卸売業▲17.8、小売業▲35.6、飲食業▲40.4、サービス業▲17.5、交通運輸業▲22.0、その他の業種 0.0 となった。

地区別の D I 値では、前期と比べ南勢地区では改善が見られ、北勢地区、伊賀地区、東紀州地区はほぼ横ばい、中勢地区では悪化となり、北勢地区▲18.8、中勢地区▲20.4、南勢地区▲20.8、伊賀地区▲22.2、東紀州地区▲34.4 となった。

図－8 販売条件



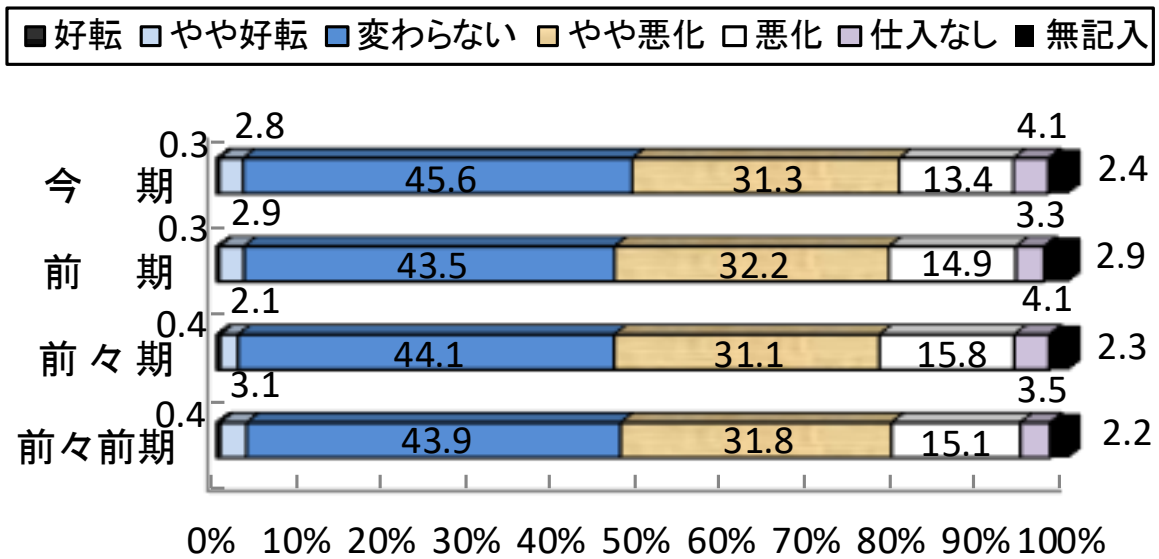
6. 仕入条件

全体では、「好転・やや好転」が 3.1%（前期 3.2%）、「やや悪化・悪化」が 44.7%（前期 47.1%）で、D I 値は▲41.6（前期▲43.9）となり、2.3 ポイント改善した。

業種別の D I 値では、前期と比べ製造業、建設業、卸売業、サービス業、交通運輸業、その他の業種で改善が見られ、小売業でほぼ横ばい、飲食業で悪化となり、製造業▲40.6、建設業▲40.1、卸売業▲37.8、小売業▲49.3、飲食業▲71.4、サービス業▲30.6、交通運輸業▲38.0、その他の業種▲24.0 となった。

地区別の D I 値では、前期と比べ北勢地区、南勢地区、伊賀地区、東紀州地区で改善が見られ、中勢地区でほぼ横ばいとなり、北勢地区▲39.1、中勢地区▲43.0、南勢地区▲42.3、伊賀地区▲40.9、東紀州地区▲51.6 となった。

図－9 仕入条件



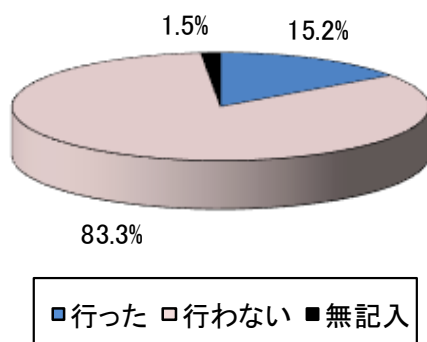
7. 設備投資

全体では、設備投資を行った企業は 353 社、15.2%（前期 481 社、17.9%）、設備投資を予定している企業は 322 社、13.9%（前期 350 社、13.0%）であった。

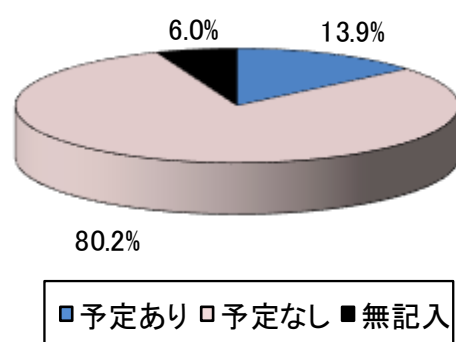
業種別では、交通運輸業 22.0%、製造業 17.7%、建設業 17.3%は他の業種よりも設備投資を行った割合が高かった。設備投資の予定については、交通運輸業が 22.0%と最も高い割合であった。

地区別では、伊賀地区が実績 17.0%と最も高く、設備投資の予定については南勢地区が 15.5%と最も高い割合であった。

図－10 設備投資の実績



図－11 設備投資の予定



8. 資金繰り状況と今後の見通し

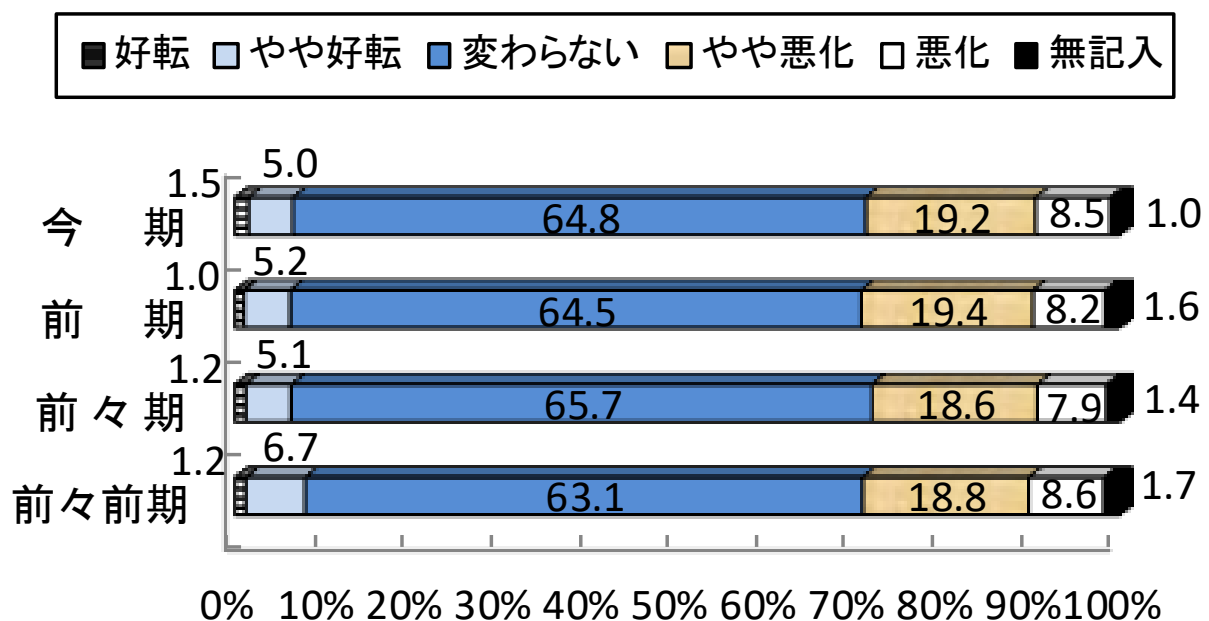
a) 現状

全体では「好転・やや好転」が 6.5%（前期 6.2%）、「悪化・やや悪化」は 27.7%（前期 27.6%）で、D I 値は▲21.2（前期▲21.4）となり、0.2 ポイント改善した。

業種別D I 値では前期と比べ製造業、サービス業、交通運輸業、その他の業種が改善し、飲食業ではほぼ横ばい、建設業、卸売業、小売業で悪化となり、製造業▲21.4、建設業▲19.1、卸売業▲15.5、小売業▲31.8、飲食業▲34.5、サービス業▲14.7、交通運輸業▲12.0、その他の業種▲5.0 となった。

地区別D I 値では、前期と比べ中勢地区、伊賀地区、東紀州地区では改善となり、北勢地区はほぼ横ばい、南勢地区で悪化となり、北勢地区▲20.7、中勢地区▲20.7、南勢地区▲23.7、伊賀地区▲18.3、東紀州地区▲24.0 となった。

図－12 資金繰りの現状



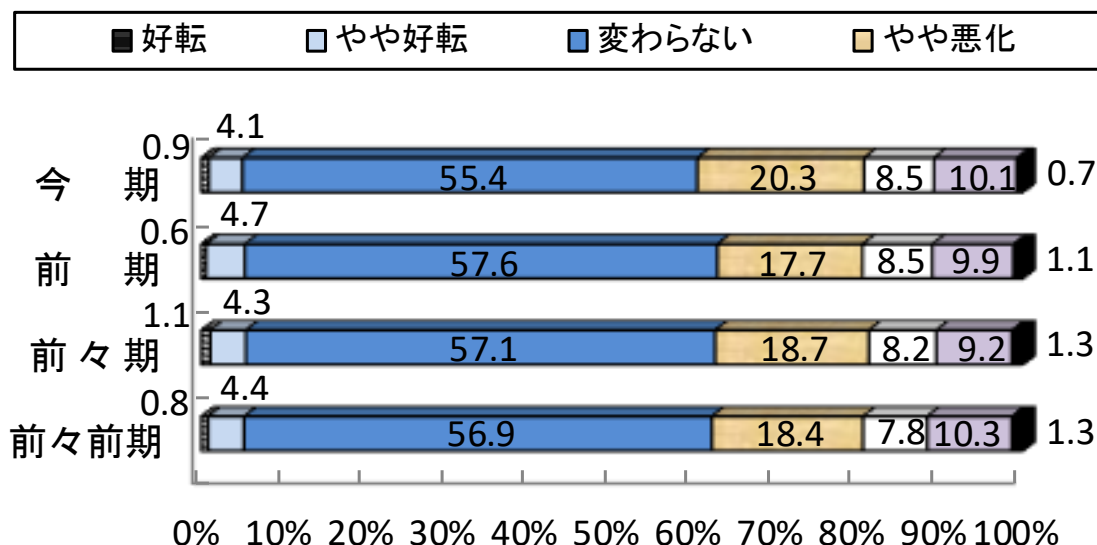
b) 見通し

全体では「好転・やや好転」が 5.0%（前期 5.3%）、「悪化・やや悪化」は 28.8%（前期 26.2%）でD I 値は▲23.8（現状D I 値▲21.2）となり、2.6 ポイント悪化の見通しとなった。

業種別D I 値では、現状と比べ飲食業で改善となり、小売業ではほぼ横ばい、製造業、建設業、卸売業、サービス業、交通運輸業、その他の業種で悪化となり、製造業▲26.1、建設業▲21.1、卸売業▲22.9、小売業▲32.1、飲食業▲32.7、サービス業▲18.5、交通運輸業▲14.0、その他の業種▲9.0 となった。

地区別のD I 値では、現状と比べすべての地区で悪化となり、北勢地区▲21.9、中勢地区▲23.0、南勢地区▲25.3、伊賀地区▲25.6、東紀州地区▲30.3 となった。

図－13 資金繰りの見通し



9. 借入状況

a) 現状

回答企業 2,316 社のうち、借入を実施した企業は、842 社、36.3%（前期 1,023 社、38.1%）であった。

b) 借入の難易度

全体では、借入を実施した企業のうち、「容易」が 11.6%（前期 11.1%）、「困難」は 13.8%（前期 13.6%）で、D I 値は▲2.2（前期▲2.5）と 0.3 ポイント改善した。

業種別 D I 値では、前期と比べ製造業、飲食業で改善となり、建設業でほぼ横ばい、卸売業、小売業、サービス業、交通運輸業、その他の業種で悪化となり、製造業 2.2、建設業 2.8、卸売業▲5.7、小売業▲8.1、飲食業▲13.7、サービス業▲7.5、交通運輸業 7.1、その他の業種▲5.6 となった。

図－14 借入の難易度

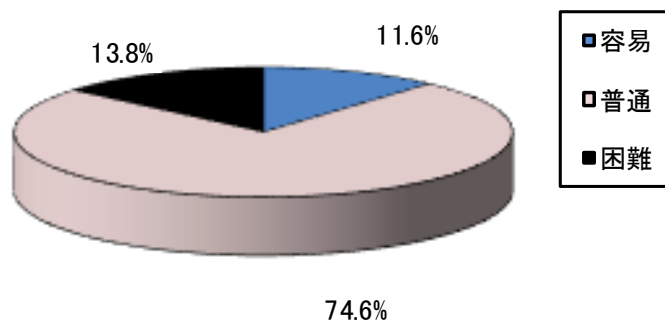
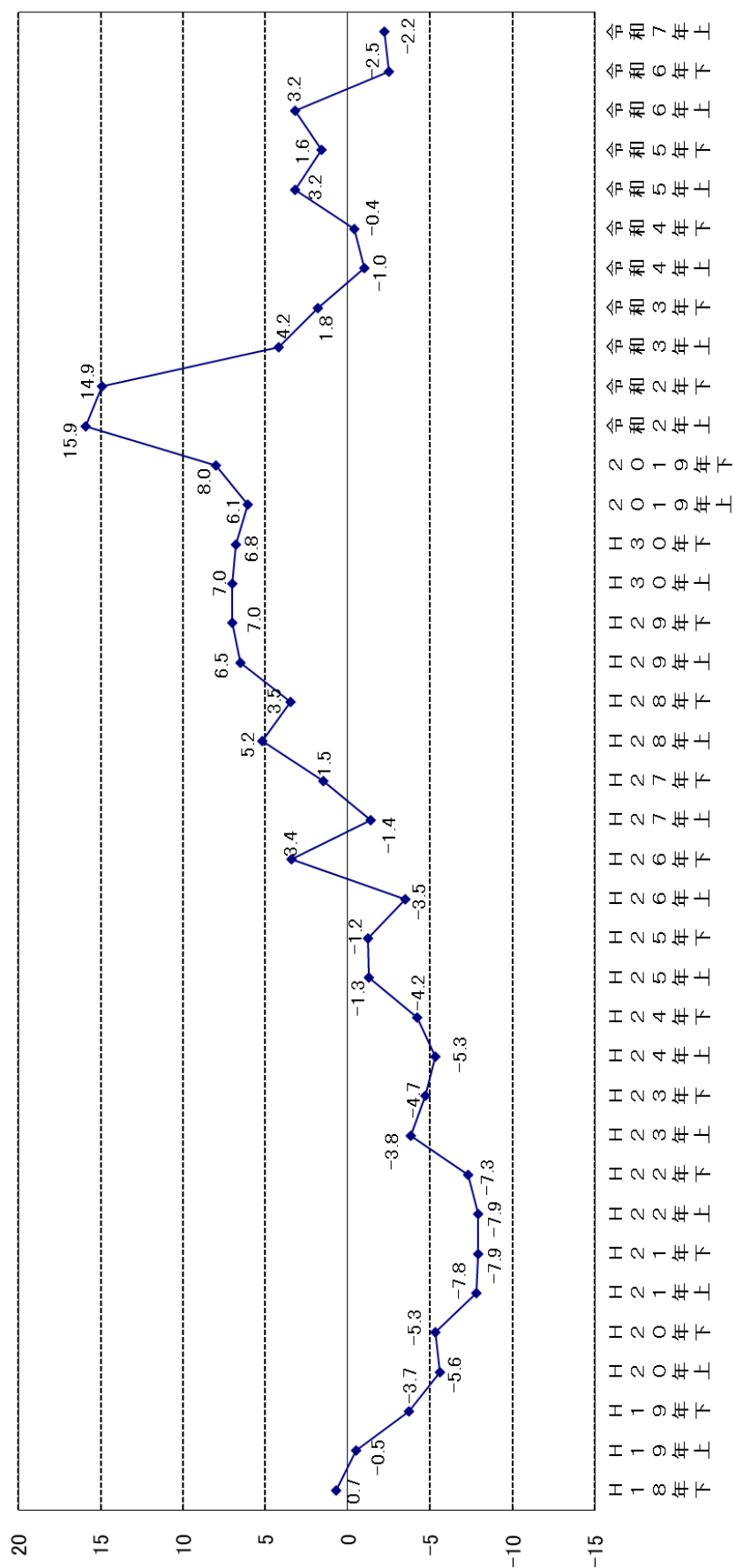


図-15 借入難易度D I 値の推移



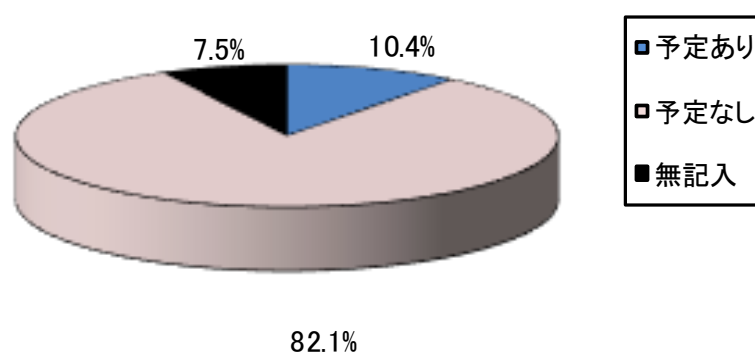
10. 借入予定

全体では、回答企業 2,316 社のうち、借入を予定している企業は 242 社、10.4%（前期 303 社 11.3%）であった。

業種別で見ると、借入を予定しているのは交通運輸業が 16.0%と最も高く、飲食業が 4.7%と最も低かった。

地区別では、北勢地区が 12.6%と最も高く、中勢地区 10.2%、南勢地区 7.3%、伊賀地区 8.7%、東紀州地区 5.9%となった。

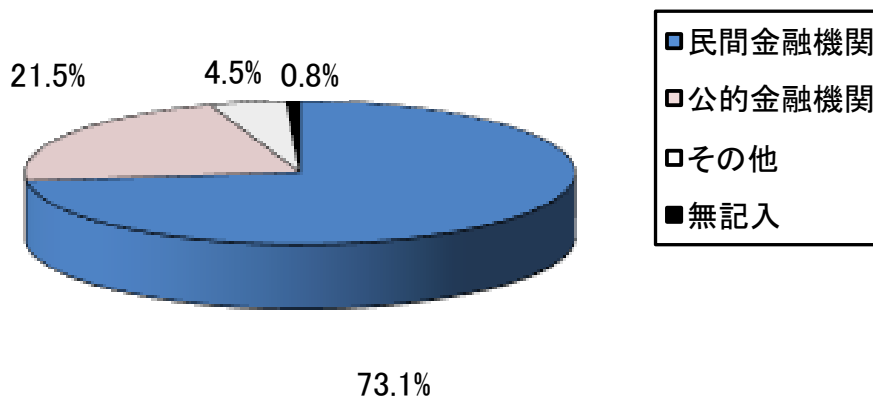
図－16 借入予定



11. 借入希望先

借入を予定している企業のうち、「民間金融機関」が 73.1%（前期 68.3%）、「公的金融機関」は 21.5%（前期 23.4%）となった。

図－17 借入希望先

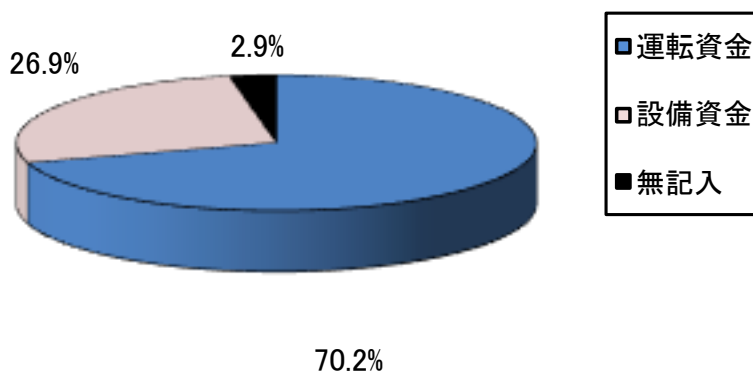


12. 借入金の使途予定

全体では、借入を予定している企業のうち、「運転資金」が 70.2%（前期 68.3%）に対し、「設備資金」は 26.9%（前期 27.7%）であった。

業種別では「運転資金」でその他の業種が 100.0%、「設備資金」で交通運輸業が 62.5%と、それぞれ最も高かった。

図－18 借入金の使途予定



13. 経営上の問題点

全体では、「売上・受注の停滞減少」が最も多く 42.6%（前期 37.9%）、次いで「原材料高及び不足」が 33.0%（前期 32.6%）、「人手不足」が 25.5%（前期 28.7%）となった。

業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業、その他の業種で「売上・受注の停滞減少」、建設業、交通運輸業で「人手不足」、飲食業で「原材料高及び不足」の回答が最も多かった。

表－1 経営上の問題点(3項目以内複数回答)

区 分		第 1 位	第 2 位	第 3 位
業 種 別	製 造 業	売上・受注の停滞減少 (52.8)	原材料高及び不足 (38.5)	設備店舗の狭小老朽化 (24.5)
	建 設 業	人手不足 (44.3)	売上・受注の停滞減少 (37.6)	原材料高及び不足 (33.3)
	卸 売 業	売上・受注の停滞減少 (47.4)	原材料高及び不足 (35.6)	人件費以外の経費増加 (16.3)
	小 売 業	売上・受注の停滞減少 (57.7)	原材料高及び不足 (28.2)	設備店舗の狭小老朽化 (26.7)
	飲 食 業	原材料高及び不足 (67.3)	設備店舗の狭小老朽化 (27.5)	売上・受注の停滞減少 (26.3)
	サービス業	売上・受注の停滞減少 (34.2)	設備店舗の狭小老朽化 (23.4)	原材料高及び不足 (20.0)
	交通運輸業	人手不足 (52.0)	人件費以外の経費増加 (36.0)	売上・受注の停滞減少 (26.0)
	そ の 他	売上・受注の停滞減少 (31.0)	人手不足 (30.0)	人件費の増加 人材育成 (21.0)
地 区 別	北 勢	売上・受注の停滞減少 (39.1)	原材料高及び不足 (30.7)	人手不足 (28.5)
	中 勢	売上・受注の停滞減少 (47.3)	原材料高及び不足 (31.6)	人手不足 (25.7)
	南 勢	売上・受注の停滞減少 (42.0)	原材料高及び不足 (40.7)	人手不足 (21.5)
	伊 賀	売上・受注の停滞減少 (43.5)	原材料高及び不足 (30.4)	人手不足 (23.0)
	東 紀 州	売上・受注の停滞減少 (52.5)	原材料高及び不足 (38.9)	人件費以外の経費増加 (24.0)
総 合		売上・受注の停滞減少 (42.6)	原材料高及び不足 (33.0)	人手不足 (25.5)

(単位：%)

県内商工会議所地区の景況

桑名商工会議所地区（調査対象 1, 470 事業所 回答状況 387 事業所）

現 状

令和 7 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 14.7%（前期 18.7%）、「やや悪い・悪い」が 42.1%（前期 46.0%）となった。D I 値は▲27.4（前期▲27.3）となり、前期調査時に比べほぼ横ばいの結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲26.6（前期▲31.8）・建設業が▲23.1（前期▲19.3）・卸売業が▲42.0（前期▲43.5）・小売業が▲54.5（前期▲55.9）・飲食業が▲27.7（前期▲9.2）・サービス業が▲10.7（前期▲16.4）・交通運輸業が▲20.0（前期▲18.2）・その他の業種が▲27.3（前期▲11.1）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して製造業、卸売業、小売業、サービス業で改善が見られ、建設業、飲食業、交通運輸業、その他の業種については悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 11.1%、「やや悪い・悪い」との回答は 37.5% で、D I 値は▲26.4 となった。

現状の D I 値（▲27.4）と比較すると、1.0 ポイントの業況改善を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲28.6・建設業が▲16.8・卸売業が▲42.2・小売業が▲56.3・飲食業が▲22.3・サービス業が▲16.0・交通運輸業が▲20.0・その他の業種が▲9.1 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、建設業が 6.3 ポイント、飲食業が 5.4 ポイント、その他の業種が 18.2 ポイント改善する見通すほか、卸売業が▲0.2、交通運輸業が 0.0 ポイントと現在の水準で推移する見通しである。一方で、製造業が 2.0 ポイント、小売業が 1.8 ポイント、サービス業が 5.3 ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く 43.2%（前期 42.1%）、「原材料高及び不足」が 29.7%（前期 34.5%）、「人手不足」が 21.7%（前期 25.4%）と上位を占めた。

業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業、その他の業種で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、建設業、飲食業では「原材料高及び不足」、交通運輸業では「売上・受注の停滞減少」と「人件費以外の経費増加」が最も多い結果となった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 48 社 12.4%（前期 16.3%）であった。前期と比較して 3.9 ポイント減少した。

業種別では、製造業が 12.2%（前期 12.4%）、建設業が 13.7%（前期 15.9%）、卸売業が 0%（前期 13.0%）、小売業が 5.5%（前期 13.5%）、飲食業が 22.2%（前期 18.2%）、サービス業が 17.3%（前期 19.0%）、交通運輸業が 20.0%（前期 36.4%）、その他の業種が 9.1%（前期 27.8%）となった。

前期と比較し、飲食業が 4.0 ポイントと最も増加幅が大きく、その他の業種が▲18.7 ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。

四日市商工会議所地区（調査対象事業所事業所 2,325 事業所 回答状況 442 事業所） 現 状

令和7年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が21.3%（前期22.2%）、「やや悪い・悪い」が40.1%（前期37.5%）となった。D I 値は▲18.8（前期▲15.3）となり、前期調査時に比べ3.5ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が▲30.7（前期▲14.9）、建設業が▲10.8（前期▲11.1）、卸売業が▲16.7（前期▲24.2）、小売業が▲30.5（前期▲40.6）、飲食業が▲31.8（前期▲29.1）、サービス業が▲13.3（前期▲9.9）、その他の業種が▲27.6（前期▲3.9）となった。

業種別では前期D I 値と比較して卸売業、小売業が改善し、建設業ではほぼ横ばいとなった。一方で、製造業、飲食業、サービス業、その他の業種が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が12.9%、「やや悪い・悪い」との回答は37.8%、D I 値は▲24.9となった。現状のD I 値（▲18.8）と比較すると、悪化を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲34.7、建設業が▲20.5、卸売業が▲29.2、小売業が▲32.7、飲食業が▲40.9、サービス業が▲16.1、その他の業種が▲24.1となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、その他の業種が3.5ポイントの改善、一方で製造業が4.0ポイント、建設業が9.7ポイント、卸売業が12.5ポイント、小売業が2.2ポイント、飲食業が9.1ポイント、サービス業が2.8ポイントの悪化を見通している。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上受注の停滞減少」35.1%（前期34.4%）が最も多く、次いで「人手不足」が33.7%（前期36.3%）および「原材料高及び不足」30.1%（前期28.7%）が上位を占めた。

課題別では、「売上・受注の停滞減少」については小売業が52.2%（前期40.6%）と11.6ポイント増加し全業種の中で最も高い割合となった。「人手不足」については建設業で50.6%（前期60.3%）と9.7ポイント改善している。

【設備投資】

設備投資を実施した企業は83社18.8%（前期22.4%）となり、前期と比較して3.6ポイント減少した。

業種別では、製造業が21.3%（前期25.5%）、建設業が19.9%（前期23.1%）、卸売業が8.3%（前期3.0%）、小売業が17.4%（前期13.0%）、飲食業が9.1%（前期16.7%）、サービス業が21.3%（前期25.6%）、その他の業種では17.2%（前期25.0%）となった。

前期と比較し、卸売業が5.3ポイント、小売業が4.4ポイント増加し、製造業が4.2ポイント、建設業が3.2ポイント、飲食業が7.6ポイント、サービス業が4.3ポイント、その他の業種が7.8ポイント減少した。

鈴鹿商工会議所地区（調査対象 1,100 事業所 回答状況 240 事業所）

現 状

令和 7 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 18.3%（前期 20.5%）、「やや悪い・悪い」が 41.7%（前期 39.3%）となった。D I 値は▲23.4（前期▲18.8）となり、前期調査時に比べ 4.6 ポイント悪化する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲27.9（前期▲27.4）・建設業が▲17.8（前期▲13.0）・卸売業が▲36.4（前期 7.2）・小売業が▲26.2（前期▲24.3）・飲食業が▲50.0（前期▲37.5）・サービス業が▲26.4（前期▲12.9）・その他の業種が 33.3（前期▲23.5）となった。

業種別では前期 D I 値と比較してその他の業種で改善が見られた。製造業では、ほぼ横ばいとなった。一方で、建設業・卸売業・小売業・飲食業・サービス業が悪化した。特に卸売業で悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 14.6%、「やや悪い・悪い」との回答は 43.8%、D I 値は▲29.2 となった。

現状の D I 値▲23.4 と比較すると、5.8 ポイントの悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲46.5・建設業が▲27.4・卸売業が▲36.4・小売業が▲26.0・飲食業が▲45.0・サービス業が▲26.3・その他の業種が 33.3 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、飲食業が 5.0 ポイント改善を見通す。また、卸売業が▲36.4、小売業が▲26.0、サービス業が▲26.3、その他の業種が 33.3 と現在の水準で推移する見通しである。一方で製造業が 18.6 ポイント、建設業が 9.6 ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、37.5%（前期 35.1%）、「原材料高及び不足」が 32.9%（前期 34.8%）、「人手不足」が 30.0%（前期 30.4%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業、小売業において「売上・受注の停滞減少」が最も多く、卸売業、飲食業では、「原材料高及び不足」、建設業では「人手不足」、サービス業では「人件費以外の経費の増加」が最も多い結果となった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 38 社 15.8%（前期 19.8%）であった。前期と比較して 4 ポイント減少した。業種別では、製造業が 20.9%（前期 16.1%）、建設業が 19.0%（前期 22.4%）、卸売業が 36.4%（前期 21.4%）、小売業が 8.7%（前期 10.8%）、飲食業が 15.0%（前期 18.8%）、サービス業が 5.3%（前期 24.1%）、その他の業種が 8.3%（前期 23.5%）となった。設備投資を実施した業種別では、建設業が 16 社と最も多かった。

亀山商工会議所地区（調査対象 452 事業所 回答状況 86 事業所）

現 状

令和 7 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 8.2%（前期 10.5%）、「やや悪い・悪い」が 46.5%（前期 39.5%）となった。D I 値は▲38.3（前期▲29.0）となり、前期調査時に比べ 9.3 ポイント悪化する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲23.5（前期▲30.0）・建設業が▲40.0（前期▲23.1）・卸売業が▲75.0（前期▲75.0）・小売業が▲73.3（前期▲26.6）・飲食業が▲42.9（前期 14.3）・サービス業が▲14.3（前期▲40.9）・交通運輸業が▲40.0（前期 0.0）・その他の業種が▲50.0（前期▲50.0）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して製造業、サービス業については改善が見られたが、卸売業、その他の業種についてはほぼ横ばい、建設業、小売業、飲食業、交通運輸業については悪化する結果となった。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 8.2%、「やや悪い・悪い」との回答は 47.6%、D I 値は▲39.4 となった。

現状の D I 値（▲38.3）と比較すると、1.1 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲35.2・建設業が▲46.7・卸売業が▲75.0・小売業が▲60.0・飲食業が▲42.8・サービス業が▲23.8・交通運輸業が▲20.0・その他の業種が 0.0 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、小売業が 13.3 ポイント、交通運輸業が 20.0 ポイント、その他の業種が 50.0 ポイント改善を見通すほか、卸売業、飲食業がほぼ横ばいの見通しである。一方で製造業が 11.7 ポイント、建設業が 6.7 ポイント、サービス業が 9.5 ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が 46.5%（前期 34.9%）と最も多く、次いで「原材料高及び不足」が 32.6%（前期 36.0%）、「人手不足」が 27.9%（前期 30.2%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、飲食業で「原材料高及び不足」、交通運輸業で「人手不足」が最も多い結果となった。また、建設業は「売上・受注の停滞減少」「人手不足」が同率で最も多い結果となった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 13 社 15.1%（前期 11.6%）であった。前期と比較して 3.5 ポイント増加した。

業種別では、製造業が 23.5%（前期 20.0%）、建設業が 13.3%（前期 15.4%）、卸売業が 25.0%（前期 0.0%）、小売業が 6.7%（前期 0.0%）、飲食業が 0.0%（前期 0.0%）、サービス業が 14.3%（前期 13.6%）、交通運輸業が 40.0%（前期 33.3%）、その他の業種が 0.0%（前期 0.0%）となった。

前期と比較し、卸売業が 25.0 ポイントと最も増加幅が大きく、建設業が▲2.1 ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。

津商工会議所地区（調査対象 1,651 事業所 回答状況 134 事業所）

現 状

令和 7 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 16.4%（前期 20.9%）、「やや悪い・悪い」が 42.5%（前期 41.8%）となった。D I 値は▲26.1（前期▲20.9）となり、前期調査時に比べ 5.2 ポイント悪化する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲22.7（前期▲33.4）・建設業が▲18.5（前期▲4.4）・卸売業が▲80.0（前期▲33.3）・小売業が▲37.5（前期▲35.3）・飲食業が▲40.0（前期 11.1）・サービス業が▲34.8（前期▲24.3）・その他の業種が▲0.1（前期▲30.8）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して製造業、その他の業種で改善が見られた。一方で、建設業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業で悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 9.7%、「やや悪い・悪い」との回答は 46.3%、D I 値は▲36.6 となった。

現状の D I 値（▲26.1）と比較すると、10.5 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲41.0・建設業が▲34.9・卸売業が▲60.0・小売業が▲62.6・飲食業が▲60.0・サービス業が▲34.7・その他の業種が 0.0 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、卸売業で改善する見通しである。一方、サービス業、その他の業種ではほぼ横ばい、製造業、建設業、小売業、飲食業で悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」の 49.3%（前期 45.1%）が最も多く、「原材料高及び不足」が 29.1%（前期 30.1%）、「人手不足」が 26.9%（前期 30.1%）と前期同様に上位を占めた。業種別では、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業が「売上・受注の停滞減少」、飲食業では「原材料高及び不足」が最も多くなった。その他の業種では、「人手不足」と「人材育成」が最も多くなった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 19 社 14.2%（前期 17.0%）であった。前期と比較して 2.8 ポイント減少した。業種別では、製造業が 7 社（前期 5 社）と最も多かった。

松阪商工会議所地区（調査対象 804 事業所 回答状況 259 事業所）

現 状

令和 7 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 15.4%（前期 12.1%）、「やや悪い・悪い」が 46.7%（前期 44.1%）となった。D I 値は▲31.3（前期▲32.0）となり、前期調査時に比べ、ほぼ横ばいとなった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲50.0（前期▲41.3）・建設業が▲2.0（前期▲34.4）・卸売業が▲37.4（前期▲18.2）・小売業が▲56.2（前期▲31.2）・飲食業が▲33.4（前期▲45.5）・サービス業が▲19.1（前期▲20.7）・交通運輸業が 0.0（前期▲27.7）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して、建設業・飲食業・サービス業・交通運輸業で改善が見られた。一方で、製造業・卸売業・小売業で悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 7.3%、「やや悪い・悪い」との回答は 45.1%、D I 値は▲37.8 となった。

現状の D I 値（▲31.3）と比較すると、悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲48.4・建設業が▲22.0・卸売業が▲54.2・小売業が▲58.3・飲食業が▲66.7・サービス業が▲17.1・交通運輸業が▲5.9 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、製造業が 1.6 ポイント、サービス業が 2.0 ポイント改善を見通すほか、建設業が 20.0 ポイント、卸売業が 16.8 ポイント、小売業が 2.1 ポイント、飲食業が 33.3 ポイント、交通運輸業が 5.9 ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く 46.3%（前期 37.0%）、「原材料高及び不足」が 32.8%（前期 35.2%）、「人手不足」が 25.1%（前期 30.6%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業では「売上・受注の停滞減少」が、建設業、交通運輸業では「人材不足」が、飲食業では「原材料高及び不足」が最も多い結果となった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 38 社 14.7%（前期 14.9%）であった。前期と比較してほぼ横ばいとなった。

業種別では、製造業が 17.2%（前期 15.9%）、建設業が 16.0%（前期 12.5%）、卸売業が 4.2%（前期 9.1%）、小売業が 10.4%（前期 14.8%）、飲食業が 11.1%（9.1%）、サービス業が 14.9%（前期 13.2%）、交通運輸業が 29.4%（前期 33.3%）となった。

前期と比較し、建設業が 3.5 ポイントと最も増加幅が大きく、卸売業が▲4.9 ポイントと最も減少幅が大きくなった。

伊勢商工会議所地区（調査対象 600 事業所 回答状況 225 事業所 ）

現 状

令和 7 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 18.6%（前期 13.7%）、「やや悪い・悪い」が 44.4%（前期 36.2%）となった。D I 値は▲25.8（前期▲22.5）となり、前期調査時に比べ 3.3 ポイント悪化する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲15.4（前期▲30.8）・建設業が▲23.1（前期▲16.6）・卸売業が▲17.7（前期▲11.7）・小売業が▲48.1（前期▲38.5）・飲食業が▲13.2（前期▲9.7）・サービス業が▲26.7（前期▲18.8）・交通運輸業が▲66.7（前期▲66.7）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して製造業で改善が見られた。一方で交通運輸業は横ばい、建設業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業で悪化となった。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 14.2%、「やや悪い・悪い」との回答は 41.8%、D I 値は▲27.6 となった。

現状の D I 値（▲25.8）と比較すると、1.8 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲25.7・建設業が▲17.9・卸売業が▲29.3・小売業が▲40.4・飲食業が▲23.7・サービス業が▲30.0・交通運輸業が▲33.3 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、建設業が 5.2 ポイント、小売業が 7.7 ポイント、交通運輸業が 33.4 ポイント改善の見通しである。一方で製造業が 10.3 ポイント、卸売業が 11.6 ポイント、飲食業が 10.5 ポイント、サービス業が 3.3 ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「原材料高及び不足」が最も多く、41.3%（前期 28.7%）、「売上・受注の停滞減少」が 40.0%（前期 32.7%）、「人手不足」が 20.9%（前期 21.3%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業、建設業、飲食業で「原材料高及び不足」が最も多く、卸売業、小売業、サービス業、交通運輸業で「売上・受注の停滞減少」が最も多かった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 28 社 12.4%（前期 14.2%）であった。前期と比較して 1.8 ポイント減少した。業種別では、製造業が 17.9%（前期 15.4%）・建設業が 17.9%（前期 18.8%）・卸売業が 11.8%（前期 17.6%）・小売業が 5.8%（前期 11.5%）・飲食業が 7.9%（前期 12.2%）・サービス業が 13.3%（前期 12.5%）・交通運輸業が 33.3%（前期 0.0%）となり、製造業、建設業が共に 7 社と最も多かった。

鳥羽商工会議所地区（調査対象 250 事業所 回答状況 92 事業所）

現 状

令和 7 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 19.5%（前期 27.5%）、「やや悪い・悪い」が 47.8%（前期 41.3%）となった。D I 値は▲28.3（前期▲13.8）となり前期調査時に比べ、14.5 ポイント悪化する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲10.0（前期▲28.7）・建設業が▲46.2（前期▲11.8）・卸売業が▲28.6（前期▲50.0）・小売業が▲43.8（前期▲15.4）・飲食業が 0.1（前期 8.4）・サービス業が▲44.4（前期▲11.7）・交通運輸業が 100.0（前期 100.0）・その他の業種が▲100.0（前期▲100.0）となっている。

業種別では前期 D I 値と比較して、製造業・卸売業では改善が見られ、交通運輸業・その他の業種ではほぼ横ばいとなった。一方で、建設業・小売業・飲食業・サービス業は悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 8.7%、「やや悪い・悪い」との回答は 40.2%、D I 値は▲31.5 となった。

現状の D I 値（▲28.3）と比較すると、3.2 ポイント悪化の見通しとなっている。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲20.0・建設業が▲23.1・卸売業が▲28.6・小売業が▲50.1・飲食業が▲13.3・サービス業が▲55.5・交通運輸業が 0.0・その他の業種が 0.0 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、建設業が 23.1 ポイント、その他の業種が 100.0 ポイント改善を見通すほか、卸売業が現在の水準で推移する見通しである。一方で製造業は 10.0 ポイント、小売業は 6.3 ポイント、飲食業は 13.4 ポイント、サービス業は 11.1 ポイント、交通運輸業は 100.0 ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く、46.7%（前期 36.3%）、「原材料高及び不足」が 39.1%（前期 41.3%）、「設備店舗の狭小老朽化」が 30.4%（前期 31.3%）と上位を占めた。

また、業種別では製造業、建設業、小売業、サービス業は「売上・受注の停滞減少」が最も多い結果となったが、卸売業は「人件費以外の経費増加」、「原材料高及び不足」が、飲食業は「人件費の増加」が、交通運輸業は「人手不足」、「原材料高及び不足」、「人材育成」が、その他の業種は「人件費以外の経費増加」、「原材料高及び不足」が最も多い結果となった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 14 社 15.2%（前期 21.3%）であった。前期と比較して 6.1 ポイント減少した。業種別では、製造業が 20.0%（前期 7.1%）、建設業が 15.4%（前期 29.4%）、卸売業が 14.3%（前期 0.0%）、小売業が 6.3%（前期 15.4%）、飲食業が 0.0%（前期 25.0%）、サービス業が 27.8%（前期 29.4%）、交通運輸業が 100.0%（前期 0.0%）、その他業種が 0.0%（前期 0.0%）となり、業種別では製造業が 4 社と最も多かった。

上野商工会議所地区（調査対象 884 事業所 回答状況 141 事業所）

現 状

令和 7 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 13.4%（前期 16.7%）、「やや悪い・悪い」が 46.9%（前期 44.5%）となった。D I 値は▲33.5（前期▲27.8）となり、前期調査時に比べ 5.7 ポイント悪化する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲33.3（前期▲27.8）・建設業が▲36.8（前期▲40.6）・卸売業が▲37.5（前期▲0.1）・小売業が▲32.1（前期▲43.5）・飲食業が▲50.0（前期▲50.0）・サービス業が▲34.7（前期▲0.1）・交通運輸業が 0.0（前期 0.0）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して、建設・小売業で改善が見られ、飲食業・交通運輸業ではほぼ横ばいとなった。一方で、製造業・卸売業・サービス業が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 12.7%、「やや悪い・悪い」との回答は 46.8%、D I 値は▲34.1 となった。

現状の D I 値（▲33.5）と比較すると、ほぼ横ばいを見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲30.3・建設業が▲34.2・卸売業が▲62.5・小売業が▲46.4・飲食業が▲16.7・サービス業が▲27.0・交通運輸業が 0.0 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、製造業が 3.0 ポイント、建設業が 2.6 ポイント、飲食業が 33.3 ポイント、サービス業が 7.7 ポイント改善を見通すほか、交通運輸業が現在の水準で推移する見通しである。一方で、卸売業は 25.0 ポイント、小売業は 14.3 ポイントの悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く 46.1%（前期 44.4%）、「原材料高及び不足」が 35.5%（前期 39.7%）、「人手不足」が 27.0%（前期 20.6%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業・建設業・卸売業・小売業・サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、飲食業で「原材料高及び不足」と「人手不足」が最も多かった。

【設備投資】

設備投資について、設備投資を実施した企業は 29 社 20.6%（前期 16.7%）であった。前期と比較して 3.9 ポイント増加した。

業種別では、製造業が 15.2%（前期 19.4%）、建設業が 26.3%（前期 21.9%）、卸売業が 00.0%（前回 00.0%）小売業が 25.0%（前期 8.7%）、飲食業が 16.7%（前期 0.0%）、サービス業が 19.2%（前期 22.7%）、交通運輸業が 0.0%（前期 0.0%）となった。業種別では、建設業が 10 社と最も多かった。

名張商工会議所地区（調査対象 200 事業所 回答状況 86 事業所 ）

現 状

令和 7 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 13.5%（前期 10.5%）、「やや悪い・悪い」が 39.3%（前期 43%）となった。D I 値は▲25.8（前期▲32.5）となり、前期調査時に比べ 6.7 ポイント改善する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲36.4（前期▲53.3）・建設業が▲31.9（前期▲14.4）・卸売業が 0.0（前期▲12.5）・小売業が▲53.3（前期▲64.7）・飲食業が▲40.0（前期▲100.0）・サービス業が▲7.4（前期▲13.1）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して、製造業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業で改善がみられたが、建設業で悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 10.1%、「やや悪い・悪い」との回答は 39.4%、D I 値は▲29.3 となった。

現状の D I 値（▲25.8）と比較すると、▲3.5 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲36.4・建設業が▲50.0・卸売業が▲12.5・小売業が▲46.7・飲食業が▲60.0・サービス業が 0.0 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、小売業が 6.6 ポイント、サービス業が 7.4 ポイント改善を見通すほか、製造業がほぼ横ばいの見通しである。一方で、建設業が 18.1 ポイント、卸売業が 12.5 ポイント、飲食業が 20 ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、39.3%（前期 38.4%）、「原材料高及び不足」が 22.5%（前期 23.3%）、「設備店舗の狭小老朽化」が 18.0%（前期 10.5%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業・建設業・小売業・サービス業で「売上・受注の停滞減少」、卸売業で「競争激化」が最も多く、飲食業は同率で「人件費の増加」「原材料高及び不足」が最も多い結果となった。

【設備投資】

設備投資については、実施した企業は 10 社 11.2%（前期 10.5%）であった。前期と比較して 0.7 ポイント増加した。業種別ではサービス業が 5 社と最も多かった。

業種別では、製造業が 9.1%（前期 20.0%）、建設業が 9.1%（前期 4.8%）、卸売業 12.5%（前期 0%）、小売業が 6.7%（前期 0%）、飲食業が 0%（前期 0%）、サービス業が 18.5%（前期 21.7%）となった。

尾鷲商工会議所地区（調査対象 200 事業所 回答状況 179 事業所）

現 状

令和 7 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 13.7%（前期 13.5%）、「やや悪い・悪い」が 53.1%（前期 48.7%）となった。D I 値は▲39.4（前期▲35.2）となり、前期調査時に比べ 4.2 ポイント悪化する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲30.7（前期▲40.0）・建設業が▲35.0（前期▲11.2）・卸売業が▲25.0（前期▲75.0）・小売業が▲51.5（前期▲56.5）・飲食業が▲52.1（前期▲25.0）・サービス業が▲51.7（前期▲21.0）・交通運輸業が 0.0（前期▲25.0）・その他の業種が 20.0（前期▲50.0）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して製造業で 9.3 ポイント、卸売業で 50.0 ポイント、小売業で 5.0 ポイント、交通運輸業で 25.0 ポイント、その他の業種で 70.0 ポイントと改善が見られたが、一方で、建設業、飲食業、サービス業、交通運輸業が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 6.9%、「やや悪い・悪い」との回答は 49.4%、D I 値は▲42.5 となった。

現状の D I 値（▲39.4）と比較すると、▲3.1 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲43.6・建設業が▲45.0・卸売業が▲25.0・小売業が▲51.5・飲食業が▲26.0・サービス業が▲51.8・交通運輸業が▲14.3・その他の業種が▲40.0 となった。

業種別に現状の D I 値を比較すると、飲食業が 26.1 ポイント改善を見通すほか、小売業、卸売業、サービス業がほぼ横ばいを見通す結果となった。一方で、製造業が▲12.9 ポイント、建設業が▲10.0 ポイント、交通運輸業が▲14.3 ポイント、その他の業種で▲60.0 ポイントの悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題については、前期に引続き「売上・受注の停滞減少」が最も多く 52.5%（前期 44.5%）、「原材料高及び不足」が 45.0%（前期 37.8%）、「人件費以外の経費増加」が 27.5%（前期 28.6%）、「設備店舗の狭小老朽化」が 21.9%（前期 23.5%）、「人手不足」が 18.8%（前期 20.2%）と上位を占めた。

業種別では、「人手不足」について、交通運輸業で前期 1 位の 50.0%から今期 1 位の 85.7%へさらに増加した。

【設備投資】

設備投資について、実施した企業は 26 社 16.3%（前期 18 社 15.1%）であった。前期と比較して 1.2 ポイント増加した。

業種別では、製造業 17.9%（前期 22.6%）、建設業 20.0%（前期 16.7%）、卸売業 0.0%（前期 60.0%）、小売業 9.1%（前期 4.3%）、飲食業 26.1%（前期 27.3%）、サービス業 10.3%（前期 35.3%）、交通運輸業 0.0%（前期 25.0%）、その他の業種 60.0%（前期 40.0%）となり、前期と比較し、その他の業種が 20.0 ポイントと最も増加幅が大きく、卸売業が▲60.0 ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。設備投資を実施した企業数では、製造業が 7 社と最も多かった。

熊野商工会議所地区（調査対象 191 事業所 回答状況 61 事業所 ）

現 状

令和 7 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 11.0%（前期 12.5%）、「やや悪い・悪い」が 49.0%（前期 55.7%）となった。D I 値は▲44.2（前期▲43.2）となり、前期調査時に比べ、ほぼ横ばいとなった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲44.4（前期▲44.4）・建設業が▲49.9（前期▲45.5）・卸売業が▲50.0（前期▲66.6）・小売業が▲70.0（前期▲65.4）・飲食業が 33.4（前期▲63.7）・サービス業が▲25.0（前期▲8.0）・その他の業種が▲33.3（前期▲33.3）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して卸売業・飲食業で改善が見られた。製造業・その他の業種では変化が見られなかった。一方で、建設業・小売業・サービス業は悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 2.0%、「やや悪い・悪い」との回答は 35.0%、D I 値は▲54.1 となった。

現状の D I 値（▲44.2）と比較すると、9.9 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲55.5・建設業が▲33.4・卸売業が▲75.0・小売業が▲80.0・飲食業が▲33.3・サービス業が▲37.5・その他の業種が 0.0 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、建設業、その他の業種で改善する見通しである。一方で、製造業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業で悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く 52.5%（前期 46.6%）、「設備店舗の狭小老朽化」が 26.2%（前期 27.3%）、「原材料高及び不足」が 23.0%（前期 35.2%）と上位を占めた。

業種別では、小売業、サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、建設業、その他の業種では「人手不足」、卸売業では「人件費以外の経費増加」、製造業では「売上・受注の停滞減少」と「原材料高及び不足」が最も多い結果となった。一方で飲食業では差がみられなかった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 7 社 11.5%（前期 21.6%）であった。前期と比較して 10.1 ポイント減少した。業種別ではサービス業が 3 社と最も多かった。

三重の景況調査票

令和 7 年 7 月

※ 各設問に対して該当するものに○をして下さい。

I. 企業の概要

1 業 種（主たるもの1つ）

〈製 造 業〉	1.食 料 品	2.織 維 品	3.機械製品	4.金属製品	5.木材木製品
	6.化学製品	7.土石窯業	8.印刷・出版	9.そ の 他	
〈建 設 業〉	10.土木工事	11.建築工事	12.そ の 他		
〈卸 売 業〉	13.食 料 品	14.繊維・身の回り品	15.そ の 他		
〈小 売 業〉	16.繊維・身の回り品	17.食料品	18.家具・日用品	19.電気製品	20.その他
〈飲 食 業〉	21.飲 食 店				
〈サービス業〉	22.美容・理容	23.ホテル・旅館	24.自動車整備	25.不 動 産	26.その他
〈交通運輸業〉	27.交通運輸	〈そ の 他〉	28.そ の 他（		）

2 常時使用従業員数(会社の役員・家族従業員・パートを除く)

1. 0 ～ 5 人	2. 6 ～ 20 人	3. 21 ～ 50 人	4. 51 ～ 100 人	5. 101 人 以上
------------	-------------	--------------	---------------	-------------

II. 企業の経営状況について

3 現状について…令和7年1～6月の業況は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 良 い	2. や や 良 い	3. 変わらない	4. や や 悪 い	5. 悪 い
--------	------------	----------	------------	--------

理由：

4 今後の見通しについて…令和7年7～12月の業況は前年同期に比べてどうなと思いますか。

1. 良 い	2. や や 良 い	3. 変わらない	4. や や 悪 い	5. 悪 い	6. わからない
--------	------------	----------	------------	--------	----------

理由：

5 売上状況について…令和7年1～6月の売上は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増 加	2. や や 増 加	3. 変わらない	4. や や 減 少	5. 減 少
--------	------------	----------	------------	--------

6 売上の見通しについて…令和7年7～12月の売上は前年同期に比べてどうなと思いますか。

1. 増 加	2. や や 増 加	3. 変わらない	4. や や 減 少	5. 減 少	6. わからない
--------	------------	----------	------------	--------	----------

7 利益状況について…令和7年1～6月の利益は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増 加	2. や や 増 加	3. 変わらない	4. や や 減 少	5. 減 少
--------	------------	----------	------------	--------

8 販売条件(単価・決済方法)について…令和7年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好 転	2. や や 好 転	3. 変わらない	4. や や 悪 化	5. 悪 化
--------	------------	----------	------------	--------

9 仕入条件(単価・決済方法)について…令和7年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好 転	2. や や 好 転	3. 変わらない	4. や や 悪 化	5. 悪 化	6. 仕入なし
--------	------------	----------	------------	--------	---------

10 設備投資について

令和7年1～6月の実績			令和7年7～12月の予定	
1. 行 っ た	2. 行わない		1. 予定あり	2. 予定なし

11 資金繰りの現状について…令和7年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好 転	2. や や 好 転	3. 変わらない	4. や や 悪 化	5. 悪 化
--------	------------	----------	------------	--------

12 資金繰りの見通しについて…令和7年7～12月は前年同期に比べてどうなと思いますか。

1. 好 転	2. や や 好 転	3. 変わらない	4. や や 悪 化	5. 悪 化	6. わからない
--------	------------	----------	------------	--------	----------

13 借入の現状について…令和7年1～6月はどうでしたか。(借入された方のみ)

1. 容 易	2. 普 通	3. 困 難
--------	--------	--------

14 借入予定はありますか…(令和7年7～12月)

1. 予 定 して いる	2. 予 定 して いない
--------------	---------------

14-① 借入先は、どこを希望されますか。(主たるもの一つ)

1. 民間金融機関	2. 公的金融機関	3. そ の 他
-----------	-----------	----------

14-② 資金使途は何を予定されていますか。(主たるもの一つ)

1. 運 転 資 金	2. 設 備 資 金
------------	------------

15 現在経営上で、困っている問題点は何ですか。あれば3つ以内で選んでください。

1. 売上・受注の停滞減少	6. 設備・店舗の狭小老朽化	11. 競争激化
2. 製品・商品単価の下落	7. 売掛・債権回収の悪化	12. 人材育成
3. 人手不足	8. 人件費の増加	13. 立地条件の悪化
4. 過剰人員	9. 人件費以外の経費の増加	14. 法的規制等(緩和を含む)
5. 借 入 難	10. 原材料高及び不足	15. 税務・経理問題

16 その他困っている問題・御意見等があれば御記入ください。

特に人手不足、賃上げ対応、エネルギー価格や物価の高騰などによる影響、国・県などの支援策の活用状況や、今後行政へ希望する経済対策などがあれば御記入ください。

()

御協力ありがとうございました。